

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くるみの家			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自宅と同じ空間に近い状況で安心して過ごせる民家を利用している	挨拶や日常生活動作の自立を目指した支援をしています 安心して過ごせる空間以外にも発信しやすい雰囲気づくりに努めています	生活に密着した自活動作に意識を持って取り組めるようにする 視覚支援を増やし、どの児童もに安心して過ごせる空間を作る
2	社会性を育むため、多くの外出やイベント等を開催している	休校日を利用して、将来を見据えた社会活動に参加が出来る様に色々な所へ出かけています	年齢層や障害に合わせた社会性の育み出来る様に療育の質等を高めていきたい
3	就労に向けた基礎訓練の実施	中学生以上児童に将来を見据えた作業訓練を実施しています 長期休暇期間には就労継続支援事業所に見学や体験に出かけています	就労を見据え、個人に合わせた作業内容を考え取り組んでいけるようにバリエーションを増やしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない	情報の収集の仕方や発信が弱い	積極的に地域の情報を集め、行事ごとへの参加をしていきたい
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知がされていない	契約時に一連の説明を行っているが、年月の経過で周知が薄れてしまう 定期的に訓練を行っていても参加児童の保護者等しか出ていない	発信の仕方を工夫し、分かりやすいようにしていく
3			